夕刊 磐城新聞
六月二十八日發行
〔日曜祭日翌日休刊〕

『日本の鐘の音』斷想

上田福三郎

平町舊城址の時鐘が時の功勞者として表彰されたとは面白い事である。之を機會に鐘に關する古い拙稿をお目にかけ度い。

二

この點を最も詳細に研究して『耳の樂』と名付けた冊子を出版したのが、私の知人の鈴木鼓村さんである鼓村先生は琴の師匠だが、また一風變つた畫も描き頗る耳の發達した人である

先生は主として、お寺の澤山ある京都の梵鐘の音響を研究し、知恩院の鐘の音は加茂川に淺霧のかゝつたとき三本木邊から聽くのが一番良いとか、時雨時の鐘の音は南禪寺のものを黑谷から聽くに限るとか、雪の夜の鐘は永觀堂を最上とし夜半の鐘聲は眞如堂のものを百萬遍から聽くのが詩的であるなどと說いて居る

維新前は『花の雲鐘は上野か淺草か』の名句の殘つて居るが如く、江戸を中心として關東にも隨分澤山な名梵鐘があつたに違ひないと思ふが、惜しいかな、これらは黑船騷ぎで大砲に改鑄されたり、或は二束三文で西洋人に賣られた

ロンドンのサウスケンシングトンの博物館にある古色蒼然たる大梵鐘の如きは日本で購入した時の正札の四ポンドの値段が付けたまゝ陳列してある

さて、梵鐘と云ふからには、本家は印度であるべき筈だが、印度にも支那にも日本のやうに見事な大釣鐘はない

たゞ朝鮮にだけ、特に開城と慶州に、ガンダラ美術の嫩微を具備した釣鐘がある。然し、鐘の叩き方が朝鮮と內地とは大いに變つて居る

時の鐘を撞くのは餘程六ツかしいものらしい

○

支那人の一部には巧に贋造をやつて渡世してゐるものがあると見られる。銀貨の贋造も寔に簡單にやつてゐるらしい。私は子供の時分よく支那町に遊んだものだが、偶々白布に何か小粒のものが澤山入れて二人の支那人が之を上下に搖ぶつてゐるのを見たことがある。その頃は子供のこととて何をしてゐるのか一向解らずにゐたが、その後何年かたち、銀貨を互に摩擦しあつて、銀の細粉を削り取つてゐるのだと聞いたことがある、かうした仕草は彼等に取つては全く安直な惡戯に外ならない

我々は支那人から買物をして釣錢に銀貨があると、なんだか贋銀貨ではないかといふ不安を感ずる。我々には眞逆人前でその眞僞の試驗も出來ぬが、彼等は平氣でそれを試驗して受け取る

その方法は至つて簡單で一寸左手の親指と人指指で銀貨の中央を輕く押へ、右手の人指指で彈いて直ぐに耳元に寄せ、その音で眞僞を聞き分ける。或るものは地上に投げて音を試す、確に本銀と贋銀との音を區別して記憶してある

習慣で我々の耳はわづかに相違する音調を聞き分けることが出來る。然し金屬が合金されて出す音は餘りにも複雜である。金屬のパイプ、或は板の響き、又金屬線の震動、それ等が一定の音律を示す時は、實によい諧調が耳に迫る。金屬はその成分、形態或は大きさ等の極く僅かの變化で種々の音色をあらはす

磐城歌壇

新妻久滿夫選

平 芳朗生

○漸くにつゆもはれたりこの朝、窓口開けて掃除なしけり

○閉切りし窓邊に立ちて梅雨の空、何心なく眺めみしかな

○五月雨にとぢ籠りたる子供等は、窓邊に汽車を眺め居るかも

小評 平凡ではあるが何れも大變に輕妙な表現である。無雜作にそして素朴なところがよい。

『母』 星影愛子

○水藥の目盛灯近く寄せ見居る、母の仕癖に眼はうるみきぬ

○なが病みに盡し給へる吾が母の、窶き心今宵も泣く

○癒ゆるは難きにしある我が病、まことをいつか母に告げなむ

小評 心を強くもてば自ら表現も直接に迫つたものとなるであらう。

隨意詠草の外左記題詠を募集する

一、『窓』『季節に因めるもの』

一題二首以內、來月一日締切

末練(民謠)

澤渡村下市萱 小濱牧泉

もやがきれれば
河鹿の聲も
晴れて流れの
音が澄む

緣もきれたに
主さの夢が
夜毎枕の
きれ濡らす

なせに晴れない
たばこぢやないに
自棄てる煙りを
きいたとて

うしほのこゑ

第六十九回の句帳を通鑑して 十八公妥批

南風に島離れゆくヨットかな 水明

南風の島離れたる白帆かな 芳月

前者は三點句後者は落選してゐるが、殆んど同一の構想から出發してゐる、前者はヨットを確認し後者はたゞ白帆だけを認識してゐるが、ヨットの白帆かも知れない。いづれにしても『ヨット』の構成は帆が生命であるが必ずしも南風とは限らないどの方向の風でも自由に捌く裝置であるから、南風と強く云ひ放つことが、いさゝか融通のせばくるしくなるのではなからうか推敲の餘地があらうと思はれる

卓を壓す貌好草の驕りかな 嶽男

卷中の高點句で牡丹を花王となし、芍藥を花相となすとは古來より云ふてゐるほど花としては濃艶の極致である。起てば芍藥、座れば牡丹と俗に讃へそして上五が放膽的であり、座五が動かざること磐石、蓋し壓卷の佳句氣品もまた高い

芍藥や小雨の中の八重一重 石城

互選の次點句であるが、座五の八重一重はいさゝか說明に過ぎない。それは上五芍藥やに抱擁されてゐるから蛇足の嫌がある、他の境地を拉致すべきではなからうか

芍藥の地卷を一瞥するにいづれも競姸の句が多いので席上の餘興として句角力の取組を發表したその勝負を御覽に入れます

社會の今日

6月29日 △招魂社を創立す(明治二)△スペイン共和國新憲法を布告す(昭和六)△馬占山松花江ド流地帶に逃亡す△ローザンヌ會議、ドイツの讓步で危機を免る△米國民主黨大會で禁酒法廢止案可決(同七)△東京、大阪兩組合銀行では預金利下を決定し七月一日から實施(同八)

○

來るといへばまことに君よ來たまひね、待宵草の花咲きにけり 福良久子

椅子深く掛けて樹蔭や晝寢人 桐花

講談 浪人長屋 (125)

日岐武志作 月草道子畫

怪しい男

『こゝまで來る途中に、この峠には、脇道らしい路は見當らなかつたやうだやないの』

『ねえんですよ、けんどもこの雪路ぢや、路があつたところで、地の理を知らねえものにや分りッこはねえだよ』

『困つたね』

『よし、路が知れたところで、あれから十日以上も日が經つてゐるだから、駕籠屋の奴ら、どこへ小菊さまをさらつて行つたもんか容易に分つたもんぢやありましねえだ』

『どうしようね、折角からしてわざ〳〵探しに來たのに、こんなふうだと、これから何處へ行つていゝやら目的もつかぬし……』

『すみましねえ、すみましねえ、でえじなお孃さまがおらが手落ちで、とんでもねえ事になつてしまつたお亡くなりなさつた旦那さま奥さまに、なんてツてお詫び申したらいゝか、たらアすみましねえだ、すみましねえだ』

太七は、手放しで鼻をすゝりあげた

『今さら悔やんでも仕方がないそれよりもお前と二人で、どこまでも、探しあてねばならないよ』

『探しますだよ、探しますだよ草の根を掘つても、探し申さにや申しわけが立ちましねえ……』

二人は途方に暮れて、かゝづんでゐた

峠を下れば前口宿だ、もはや暮れに間もないことだから、とにかく前口宿で泊ることに決めて、二人は、やう〳〵峠を下つて行つたその時、下から登つて來た十六七の若者、すれ違ひざまに、ぢろッと二人を見たが、さッさと登つて行つてしまつた

――どこかで見たことがある

『あッ、あの男は……』

と、氣がついて、あはてゝ靜香が振り向いた時は件の若者は、もう姿が見えなかつた。脚の早い若者である。紋六であつた

『あれはたしか輕井澤にゐた玄內の弟子のやうだが』

靜香が、おもはずつぶやきながら、振りかへつた時は紋六の姿は既に林の陰に見えなくなつてゐた

うう―ッ

と、[illegible]がうなりながら坂道の上の方をみつめてゐた

『えッ、玄內の手下ですけね』

太七は急き込んで訊ねた

『どうも、さうらしいんですよ。玄內が龍雲齋と名乘つてついこの秋まで輕井澤で占ひ師にばけてゐたことは、お前もきいてたでせう』

『きゝやしたよ、占ひ屋にばけてゐやがつて、都築さまをつけねらつてゐたんでせう』

『さうです。あの頃若者を一人使つてゐたのですが今の男がとてもよく似てゐたのです』

『お靜さんは、今の奴を見たことがありなさるだね』

『え、一度だけね』

この秋、龍雲齋のとこへ占ひに行つた時、その龍雲齋である玄內の占ひを信じて三人目の男を見るために七日目の朝、街道へ出て見た時の、二人目の男――

『あッ、やつぱし、どうやらさうらしいんだよ、あの男に違ひない』

靜香ははつきり思ひ出すことが出來た

『よし、さうだときまればかうしちやあゐられねえ、手下がこの邊にうろ〳〵してゐるとなると、玄內の奴だつて、きつとこゝらあたりにゐるにちげえねえ。よし今の奴をとつゝかまへてとつちめてやりや、なんとか分るかも知れねえ……』

廣告

松村醫院 院長 松村鐵郎 平町南町電一〇七

前田醫院 院長 前田清美 植田町電話一二四

平町南町 增田耳鼻咽喉醫院 電話 四八二番

磐城家庭婦人會
皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ました
どうぞ御試用下さいませ。
親切。迅速。
◎會員募集(入會金ト維持費ハ申受ケセン)
平町字田町五(元郵便局ウラ)
駒井ヒデ 電話三九九番(呼出)

東京株式取引所 短期實物取引
角治商店
電話茅場(66)二三七一…
東京市日本橋區兜町一ノ四 電略(カ)又ハ(カクヂ)

公社債、株式現物賣買
角治株式店
株式日報營業案內御報進呈
平町本町三丁目 七十七銀行隣り 大谷時計店裏
電話七三番 主任 山田芳藏

先に福島縣第一車を入れ大方皆々樣の御試乘を願ひ御好評にあづかりましたニーアクション裝置の第二車が又昭和タクシーに入り、いよ〳〵皆々樣に本日よりデビユウしました。何時も皆々樣の忠實なる御供昭和タクシーに御用命願ひます。遠乘御回遊等は特に御相談に應じます。
平驛前 昭和タクシー 電話三四三番、三四〇番

品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平町・九品寺前

評判で香りのよい
電熱ほうじ茶發賣
一號 一斤六〇 四半斤一五
二號 一斤四〇 四半斤一〇
童謠
大黑ばしらは家の王
お勝手道具は世帶王
大勝園で買つた茶は
茶の間の王よ客間王
父様母様おすきの茶
客のほめる茶喜ぶ茶
平三 大勝園 電九三六番

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町 藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
醫學士 山內亨吉
山內醫院
電話六九一番
入院隨時 病室備完
(看護婦見習一名入用)

銘木ト建築木材ノ御用命ハ今一番勉強スル當店へ
平町字紺屋町四〇
㊍織田材木商店 電話四六〇番
建築材一式 建具材 便利瓦
極優良材碁將棋盤アリ格安讓リタシ。

難波醫院
內科 小兒科
入院應需 自炊の便あり
平町大町 電話五〇二番
醫學博士 難波睦

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器
体温器 寒暖計
◎秤ノ取引・緒ノ垂・糸ノ修・覆ヘ致シマス
開內藥局 電話四〇番

磐城鐵工機械同業組合

樂い夏が訪れました
御家族樣連れの御散策にも
急を要する御商用にも
是非尼子タクシーを
御願致します。
平二 電六四〇番

本日全記錄保持者も交り 地方稀有の庭球大接戰

高月台に六十四組が鎬を削る 來月一日の第六回關東北大會

愈々中二日の目睫に迫つた磐城庭球協會主催第六回關東北庭球大會に關し主催側は昨二十七日夜四丁目和泉屋旅館に於て協議會を開き左記役員を擧げ番組其他を決定したが參加は仙鐵、東鐵、中大、日立、原町、小野新町、其他合計六十四組で中には强豪揃ひの仙鐵或は前オールヂヤパン選手權保持者と云ふ輝かしい歷史を有する東鐵の日向組などもあり地方では容易に見られぬ大接戰が行はるるものと期待されてゐる

（大會長）阿部政右衛門（副會長）大森勇（審判長）大内秀久郎（審判員）堀功前澤正、鈴木光四郎、猪狩四郎、高木直治、佐藤不二夫、根本太郎（大會本部係）鈴木武夫、高田平八郎、小野榮一、松本照夫、安島賢治、根本武雄

市原醫師等發起の 平商野球後援會

晴の爭覇戰前に發會式

來月二十三日より三日間に亘り平陽の天地に展開される强豪十七中等校野球爭覇戰に就き地元磐中後援會では着々準備を進めて居るに對し決勝戰に殘る可能性ありと觀られてゐる平商關係者も一般來これが後援會の設置を協議中であつたが愈々市原卯太郎、鈴木健太郎室橋光外十一名の諸氏が發起となり來月上旬發會式を擧行大いに聲援する事になつたと

平町新野球團計劃

曩に湯本町營グラウンドの完成を見又縣下中等學校体育大會の野球會場に指定され許茲地元ファン雀躍の態であるが の機會に於て地方野球の向上を圖るべく平町に左記を中心とする軟式野球のオールド。ボーイ。チームを作るべく計劃中であると

田町—町田、石坂、花柳郵便局—小林、渡邊、小泉 紺屋町—水竹 仲町—熊 二丁目—酒井 古鍛治—遠藤 等々

磐中對遞友 野球戰は今二十八日午後四時より磐中球場に於て

陸相から表彰

一家から多數の軍人を出し陸軍大臣より表彰さるる郡下關係者昨報以後の分左の如し

三名（表彰狀）—鹿島村小松源作、湯本町柴田市之丞、川前村宇佐見丹太郎 同芳賀熊太郎、大浦村鯨岡好之助、赤井村吉田佐助、鹿島村比佐良輔、四

起債準備の傍ら 磐炭の回答を待つ

新川改修と平町

總工費三十七萬圓三ヶ年繼續の新川改修工事に關し五萬圓の地元負擔を議決したが平町では飯野、内郷兩關係村が分擔に應じないので これを水源の磐炭に仰ぐべく交渉し昨廿七日開かれた磐炭本社重役會の回答を待ちつつあるが町では五萬圓の起債に關し一兩日中大藏省預金部平出張所（平稅務署）にその手續きを取る事になつたと

磐中平商野球觀戰記

北好二

兩校で練習試合と稱してゐる。十と一とでは其の間に大きなハンデキャップを作る。かう考へて來ると今度の平商には相當輕卒の點がある樣に考へられる

×

平商は水戸遠征に依り相當疲勞して居たに違ひない。一本立の赤坂に於ては殊更と思はれる、昨日の球に偉力の無かつた事によつても一目瞭然たるものがある、決してベストコンデッションとは言はれない。練習試合だから何時でもいゝと言ふかも知れないが、私はそうは思はない。練習試合だからこそ疲勞回復後何時でも行ふべきではないだろうか

×

大會迄には相當の時日がある、平商が水戸遠征により得たる多分の自信も今磐中に依つて徹底的に打ちのめされ水泡に歸したと言はなければならない。今後平商に取り精神的打擊の偉大なる事を思へば同情に堪へない、商業野球部の一考を煩はしたい

×

磐中は昨日の勝負に全力を集中したに相違ない、此の戰に依り平商に對する自信を得る事、それは來る大會に最も有利な條件であるからである、試合には常に多分の精神が働く、そこにコーチの頭の働きがあるのではあるまいか

×

試合は初め互格に立ち上がつたが、石川の何時になくよきピッチングに流石の平商の堅棒を封じられ外野の好防にも亦阻まれて容易に得點ならず、それに反し磐中は赤坂の疲勞に乘じ下位打者よく打ち、ベンチの妙味と相俟つて大量得點なし、試合半ばにして勝敗は殆ど決した。試合としては平凡であつた、只平商の外野の拙劣さとランナーの拙走と、ベンチに人なきを暴露したに過ぎない

×

最後に審判の方々に苦言を呈したい、苟もアンパイアとして出場するからにはもう少し勉强して頂きたいアノ名アンパイア錢村君でさへも不斷審判術を研究して居ると言ふ話である。ボール、ストライク、セーフアウトのミスヂヤヂは之れは今更仕方がないが、昨日の如きは不明より來たるミスジヤヂではあるまいか？

×

ルールをマスターすること、それはアンパイアの當然な義務であらねばならない。磐陽野球の發達も諸兄の双肩にあると言ふも決して過言ではない。今後共最善の努力を吝まざる樣御願ひする。兩校の來る大會に健闘されんことを祈る

勿來繭市閉場

出廻高約七千貫 四倉は卅日が最終取引

開場以來安値を續けて來た郡下繭市場もはや終末期になり勿來は今廿七日の取引きを以て閉場したが昨日迄の出廻り高約七千貫、四倉も明後三十日閉場する、尚昨日の取引き相場左の如し

（出廻高）

（四倉）白—二二九貫八四〇匁、黄—一七一貫六三〇匁（勿來）白、黄—四百貫

（相場）

	高	安	馴
四倉（白）	二四〇	二一〇	二三九
（黄）	二三一	一六〇	二〇四
勿來（白）	二三〇	一九〇	二一三
（黄）	二二〇	二〇〇	二二〇

戸數割町會

明日から本會議

平町九年度戸數割審議委員會は昨廿七日で一般の調査を終了、更に今廿八日吉田（五）町議を委員長とする特別委員會に引續き明廿九日午後一時から本會議を開く事になつた

丹後澤供養

慰靈祭と祭祀計劃

平町舊城跡丹後澤に釣場を設けて居る同澤管理者白銀町八田與市氏は既報の如く人柱の口碑に殘る菅波丹後翁を記念する計劃をたてゝ居たが昨廿七日午後三時から慰靈祭を執行、尚現場に丹後翁を祀る神社を建立する事になつたと

繭價と正反對に 米は引續き奔騰

食米無き農家憂ふ

去る二十一日の平倉庫共同販賣に於て最高九圓九十二錢と云ふ近來珍しい高値を示した米價は反對に低落の一路を辿つてる繭價と共に大いに今後の推移を注目されて居るが又々去る二十五日大浦倉庫の共販に於ては玄米十圓二錢の驚異的奔騰を示し關係者一同も呆然たりし有樣で一昨日の朝鮮籾貯藏解除により當日は些か低値を示したが昨今兩日はその反動により又騰貴してる模樣で地方大部分の農家は差當りの食米に乏しい爲來月一日の平倉庫共販等に多大の注意を拂つて居る

小野氏の功勞に 擧町其筋に陳情

經濟異變に同情集る

小名濱町長小野晉平氏に對する破産の宣告に關し當代稀に見る功勞者をして之が爲再び起つ能はざるに至らしむるは地方の一大損失であるとして小名濱町民が其筋に或種の陳情をなすべく劃策中の旨既報の通りであるが此程愈々取纏めを了し高木助役、樋口收入役、各町議、各區長、同代理各組長、其他町民連署の上關係官邊へ陳情書を提出したと

平局速配實行 集配手を增員して各受持區域を縮少せんとする平局の一號便速達案は過般來考究中であつたが愈々來月一日から開始すると、然し現在の六人を十一人にするには保險集金人を繰廻す關係から之が實施期間は精々夏季中一杯であらうと見られて居る

大浦消防表彰 大浦消防組は消防及社會事業の功勞により此程渡警察部長より金馬籠一條を授與された

闇の十錢ギヤング 二人に嚴重訓戒

昨日雇主に下げ渡さる

平町二丁目尼子自動車部運轉助手草野村大字下神谷字六十枚生れ古松才太郎（一九）同双葉郡熊町村字落合生れ館畑久元（一八）—何れも假名—の兩名が去る二十一日深更燒酎の醉を驅り同町二丁目東谷口樓傍を通り蒐つた同町紺屋町理髮店人道軒車吉田渚吉方徒弟大須賀一郎（一九）に金を貸せと迫り、現金十錢を提供せしめた事件は登場人物が何れも白面の青年達許りな丈けに各方面から一層獵奇的關心を以てその成り行きを刮目されつゝ平署の取り調べを了し、昨二十七日書類と共に身柄を檢事局に送られたが當時大阪方面へ旅行不在中で此程歸つた雇主吉田彌之助氏より將來責任を以て監督し再び此種の不心得をさせぬ

鎌田青年競技練習

夙くも町民体育大會準備

平青年團主催第六回町民体育大會は既報の如く來月十五日午前八時から磐中校庭で催されるので鎌田青年分團では昨廿七日夜佐藤會長宅に臨時總會を開き

（第一部）白米、二百米、八百米繼走、鮨すくひ、寶探し、パン食ひ競走、自轉車おそ乘り競走、東西對抗綱引（第二部）百米、四百、千米瑞典繼走千五百米、一萬米、俵運び、砲丸投の各種目に十六名を選定、直に今夜から第三小學校庭で猛練習を開始する事になつたと

町及愛婦へ謝狀 過般江名沖合で低く飛行中遭難原隊附病院で加療中の三浦少尉及び上田病院に殘つてゐる島田大尉何れも經過良好であるが今廿八日横須賀海軍航空隊司令より平町及愛國婦人會分會に對し懇篤な謝狀を贈つて來たと

安全週間宣傳

平署では來月一日から七日迄の全國安全週間に際し『先づ健康』のポスターを各炭鑛を始め管内各所に配布趣旨の徹底に努むる

電話買ひ度し

姓名在社

縣下に誇る石城木炭

新潟の共進會へ出陳

新潟山林會主催隣接五縣參加林産共進會木炭品評會は來る九月新潟市で開催されるが本部から左記諸氏生産品を出陳する、尚植田、赤井兩方部は未定であると

澤渡—佐藤長司、小室誠親、補…菅野源重 永戸—小柳慶藏、小俣龜吉、補…井上源之丞、湯本方部）入遠野—西山昌進、上遠野—上遠野宗造、石住—栗田靜馬、入遠野—佐藤萬吉、川前—志田恒政、坂本政勝、薄井政常、小島萬吉、補 猪狩金一

第二小學襲はる

危かつた四百圓 犯人は活動歸りの不良か

學校專門の老賊が平署に逮捕され各學校でも些か安堵の胸をなで下した矢先昨二十七日午後十一時から今朝一時迄の間に平第一校の室内からワイシヤツ、ズボン各一枚、及廊下の義捐箱から現金八十錢を窃取逃走したが、右は宿直室、事務室を除き各教室を順次に探し廻つたらしく某教室には紙の上にバットの吸掛けがあるなど頗る危險な痕跡あり、鍵を忘れてあつた金庫中の四百圓が無事であつた事は何よりの幸であつた、犯人は活動歸りの不良少年らしいと

射擊大會延期 縣獵友會石城支部主催クレー射擊大會は來月一日開催の筈であつたが都合で八日午前八時からに延期された

學校彙報

第二奉安庫美化 平第二校では奉安庫美化を計り機會ある毎に海岸、川原等から玉石砂を運搬してゐるが昨二十二日も午前十一時から高等科生一同出動し附近より拳大の石を多數採集した

第二視察員歸校 平第二校海野、野原、草野、荒の四訓導は既報の如く去る二十日より四日間の關西方面教育視察を行ひ今二十八日午後二時半より右の報告を行つた

村上まさ嬢入賞 平第二校三年生村上まさ子さんは曩に磐中校X會展に圖畫を出品入賞したが此度も東京小學館の新館落成記念全國小學校兒童成績展覽會に出品入賞した

第一体操演習會 平第一校では昨二十七日雨天の爲延期となつた体操演習會を今二十八日四年以下に對し行つた

平商五年生見學 平商五年生六十五名は今二十八日午後一時より泉田、武川兩教諭引率の下に平町古鍛治町山崎合名會社工場を見學した

磐崎の放火事件で證人喚問

磐崎村大字藤原字忠田一〇農高木善吉（五八）に係る鬱憤晴らしの放火事件は今二十八日午前十時半から平支部で中島裁判長係り關口、香西兩判事陪席、清田檢事關與、山野邊、北川（福島）兩辯護士立會の下に公判開廷、被告は犯行一切を認め證據調べあつて十一時四十五分休憩、午後證人高木主水（被害人）を喚問した

第二兒女へ禮狀 平第二校兒童は過般在滿兵に慰問品を送つたが昨二十七日目下緩化に市集の獨立守備隊員から禮狀が到達した

小火 湯本町下淺貝大工齊藤綱重（三六）方から今二十七日午前十時半頃發火、一家一棟十五坪を燒失鎭火した原因は實父德三（六八）が爐火の不始末、損害百三十圓

隔離 平町才槌小路四高崎千枝（五）は昨廿七日腸チブスと決定隔離された

巷の埃

眞夏を思はする連日の暑熱に夙くも夏の受難者となつた交換嬢、其の他内外勤者のために平局では今二十八日庶務室の下に賣店を設けサイダー、ラムネ等の清涼飲料水、甘納豆、パン等々を陳列し、いとも和やかな氣分を醸し出して居る

二十九日

日出 四、二七 月出後 八、五七
日沒 七、〇一 月沒前 六、二〇
滿潮前五、四〇 後八、〇五 干潮前 〇、二五 後 〇、五〇

舊五月十八日 金曜 辛未 佛滅 除 亢宿
新六月二十九日

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部 神谷

▲一白の人 じ雨草木をうるほす反面に水の害を受るもあり▲二黑の人 遲々たる牛の歩みも千里の遠きに達すべし▲三碧の人 心の不滿け爆發して他に迷惑を掛る事あり▲四綠の人 苦勞心配に身は疲れ倦怠を覺え活氣を失ふ▲五黄の人 意見區々となりて物を抄らぬ日飲食に注意▲六白の人 駄辯を弄して折角の吉運を取逃すことあり▲七赤の人 智略を縱横に活用して一身一家の榮達あり▲八白の人 同行者を得て案外に道中抄るが如し病注意▲九紫の人 運途大に開くべき日普請轉宅開業旅行等吉

星製藥株式會社 福島縣チエーン大會

（福島、茨城、宮城）

七月一日 福島縣平町藤田女學校樓上

日本最初の國産キナ樹陳列會

今回の福島縣チエーン大會は會社甦生の歡喜に滿つる意義深き飛躍的發展の大會であり目下國家的大事業として朝野の視聽を蒐めつゝある本社の臺灣に於けるキナ樹栽培の狀況を報告しキナ樹、キナ皮、キナ樹、各種細工物並にキナ山栽培の大寫眞を陳列致します。チエーイン債權者各位には奮つて御出席を御願いたします。

日時 七月一日（自午前十時至午後四時）

場所 福島縣平町藤田女學校

東京 星製藥株式會社 任務斷行期成團

大會事務所 平町三丁目三〇 星チエイン平支店（電話四二九）

○尚キナ樹陳列會は當日午前十時より午後四時迄一般の觀覽に供します

○當日午後六時より平町活動常設館世界館に於て福島民報社主催の『講演と映畫の夕』の會で星社長の講演と獨逸大使館貸下のオールトーキー映畫『ナチス國民勤勞祭』を公開す